日立グループ健康経営戦略マップ

HITACHI

健康投資

- メンタルヘルス施策
  - ラインケア
    - ・精神疾患予兆把握運用
    - ・ストレスチェック集団分析実施(上司サポート・コントロール・量的負担)
  - セルフケア
    - ・相談窓口周知、利用促進
    - ・メンタル研修改善・展開
- フィジカルヘルス施策
  - 要再検/要精検の受診勧奨・フォロー運用
    - ・受診勧奨の実施
    - ・重症化予防指導の実施
  - 特定保健指導の提供・継続支援（健保連携）
    - ・対象者把握・案内・申込導線支援(特に低参加事業所向け)
    - ・ハイリスク者重点フォロー（個別フォロー）

従業員の健康課題

・精神疾患による休職・治療を必要とする従業員が増加し、精神疾患罹患率が上昇傾向にある
・生活習慣病等の罹患率が増加傾向にあり、適正な治療・服薬継続が必要な対象者が増加している

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
予兆把握対象者の1on1実施率	上司サポート・コントロール・量的負担スコアの改善	高ストレス者率の低減
EAP等の相談窓口利用件数		ストレス反応の改善
要再検査／要精密検査の対象者の受診率	要再検査／要精密検査の生活習慣の改善	生活習慣病ハイリスク対象者割合の減少
特定保健指導の初回面談実施率	特定保健指導の完了率の改善	特定保健指導対象者の減少

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援
・経営トップメッセージ発信 Hitachi Insights結果による安全衛生基本理念の浸透状況確認	・経営会議(グローバルエグゼクティブミーティング)での議論 ・日立健保との連携体制 ・健康経営優良法人取得	・日立グループストレスチェックサービスにおける上司/同僚からのサポート結果確認

目標年：2027年

KGI	健康経営の目標
アブセンティーズムの低減（メンタル・フィジカル休務者の割合）	心身の不調の重症化・長期化を防止し、アブセンティーズムを継続的に低減する
プレゼンティーズムの低減（WFun）	健康問題による生産性損失を抑制し、持続可能な就業環境と生産性向上の基盤を構築する
エンゲージメントの向上（Hitachi Insights Well-Being指標）	従業員一人ひとりのWell-beingを高め、組織の活力とエンゲージメントを向上させる

健康経営の推進方針

多様な人財が多様な価値観をもって
いきいきと働くことで、イノベーション創出や生産性を向上し、
「個人と組織が継続的に成長・発展」することを実現

経営方針

Inspire 2027

環境・幸福・経済成長が調和する「ハーモナイズドソサエティ」の実現

持続的な企業価値向上と社会価値創出の両立

健康経営目標の達成を通じた健康課題の解決

健康経営における各指標

№	指標	2025年度実績	備考
1	定期健康診断後の精密検査受診率	74.9%	日立製作所のみ
2	ハイリスク者の管理（治療継続）率　＊注1	87.8%	日立製作所のみ
3	ストレスチェックの受検率	92.3%	日立グループ
4	高ストレス者率	9.7%	日立グループ
5	プレゼンティーイズム(Wfun)　＊注2	14	日立グループ

注1：定期健康診断受診者のうち高血圧と判定された者の中で、医療機関による高血圧治療を受けている者の割合
注2：プレゼンティーイズム：WFun（労働機能障害尺度）を用いて測定し、WFunスコア21点以上の従業員割合をプレゼンティーイズム指標として算出。［測定人数：101,854人、回答率：92.3%］

© Hitachi, Ltd. 2026. All rights reserved.